

(4) 教育普及事業

1. 事業の基本的な考え方

展示解説、普及活動等を行う教育普及事業は、調査・収集・整理・保存・展示・研究などの諸活動とともに、文学館活動の中で重要な位置を占める。社会教育・学校教育との連携を図りつつ、文学専門の博物館としての特性を生かし、年間を通しての文学講座や講演会、創作教室、文学的に価値ある映画の上映、朗読公演会など、文学について学び親しむ事業を幅広い世代に向けて行っている。

また、郷土への関心を高め、郷土を愛し、誇りを持てる心情を育むため、山梨ゆかりの作家や作品の資料を活用した学習プログラムや子ども向け事業の充実を図っている。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月11日（金）～19日（土）の間の各事業は延期とし、8月8日（日）～9月12日（日）の間は、臨時休館となった。また、令和4年1月19日（水）～2月27日（日）の間の各事業は中止または書面開催とした。

2. 教育普及活動の内容

(1) 特設展・企画展関連教育普及事業

特設展「作家の愛用品」「文学の中の富士山」企画展「ミステリーの系譜」に関連して、作家・研究者・関係者による講演会や関連講座を行う。特設展・企画展のテーマを詳しく解説し、展示では扱えなかった視点から考察を加えるとともに特設展・企画展そのものへの理解を深められるように実施した。外部講師及び職員による講演会・講座などを通して文学を学ぶ機会を提供した。

- ①外部講師及び職員による講演会・文学講座事業を実施。
- ②関連映画鑑賞会を実施。
- ③関連ワークショップを実施。
- ④チャレンジクイズを実施。

楽しみながら展示の内容が学べる小中学生対象のクイズを作成。

※各講演会に関しては、講堂内ソーシャルディスタンス確保のため、定員500名のところを240名の定員で実施した。

(2) 年間文学講座

年間文学講座は平成2年度から実施している。県民の興味・関心に応じて幅広く学べるよう配慮し、テーマ設定に当たっては講師の専門性を生かすことを心がける。令和3年度は、5名の講師によるリレー形式の講座である「古典文学講座（全8回）」と1名の講師による「近代文学講座（全8回）」の2講座及び、当館の学芸員が講師を務める「山梨の文学講座（全4回）」を実施した。

講座1のテーマは「古典文学入門」、講座2のテーマは「ジャンルを超える文学の可能性」、講座3は、当館の展示作家を中心に、山梨出身・ゆかりの人物と文学についての講座を実施した。当初、講座1を8回、講座2を8回、講座3を4回予定していたが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、1月の講座を中止した。募集定員はソーシャルディスタンス確保のため定員150名のところを40名とした。

(3) 名作映画鑑賞会

文学作品を映画化した名作の数々を上映し、文学と映画の関わりについて考え、作品をより深く理解してもらうための企画である。平成2年から毎年実施している。令和3年度は一般向け映画を4回計画していたが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から3回実施。講堂内のソーシャルディスタンス確保のため100名の定員で実施した。

(4) 朗読公演会

作品（詩・小説など）の魅力を朗読公演によって鑑賞する一般向けの企画を1回実施する。これは、開館の年から毎年開催している。令和3年度は、紺野美沙子朗読座による「ベルベットのうさぎ」を実施した。

(5) 文学創作教室

俳句をはじめ短歌や詩、エッセイなどの創作を通じて、文化活動を推進する。小・中・高校生をはじめ広く県民を対象に、文学創作講座を実施する。今年度は、三枝昂之館長と三枝浩樹氏による短歌教室（計4回）を開催した。新型コロナウイルス感染予防対策として、6月に予定していた回は7月に延期した。また、川上健一氏を講師として、初心者小説創作教室を、吉田朝麻氏を講師として、ZINE作り教室を開催した。

(6) 山梨の文学解説講座（出前講座）

この講座は、学芸課の職員が、要請された県内各市町村や小中高校等に赴いて関連のある県出身・ゆかりの文学者と作品を紹介する出張講座である。

(7) 教師のための学習会

県内の小・中・高校・特別支援学校の教職員を対象に、秋の企画展と冬の特設展各1回ずつ実施。観覧しながら文学館職員が説明した。

(8) 児童生徒向け事業について

将来の山梨を担うことになる子どもたちに、山梨ゆかりの文学と文学者について学びきっかけを作る。学校教育との連携をより緊密にして、文学を通して豊かな心を育てていく。

① 文学教室

年間を通じ、随時開催する。来館する小学校、中学校、高等学校の要請に応じ、当館が展示する内容について、当館の研修室・講堂等において、説明・講義する。

② ワークショップ

主に子どもを対象とした参加型・体験型の教室を開催し、文学を身近に感じ、文学や文学者に興味を持ってもらう機会とする。令和3年度は、春の特設展に関連して5月に「はんこ彫り（篆刻）をしよう」、夏の特設展に関連して7月に「スノードームをつくろう」を開催した。1月には、「新春ワークショップ 小学生百人一首教室」を実施した。また、2月に開催の大人を対象とした「俳句を始めよう 大人のための初心者俳句ワークショップ」は、新型コロナウイルス感染予防対策のために書面での開催とした。

③ 学習ガイド（ジュニアガイドブックと教育普及用資料集）

県出身又はゆかりの文学者、作品について、小中高生の理解を深めるために、文学者、作品についての教育普及資料集を作成している。平成27年は宮沢賢治の、29年度は樋口一葉の教育普及資料を改訂するなど、随時見直しを行っている。

また、常設展示室に展示されている山梨県出身およびゆかりの文学者について、わかりやすく解説したジュニアガイドブックを活用し、子どもたちが文学への興味や関心を持てるようにしている。

④ チャレンジ文学館

常設展を見に来た子どもたちが、ポイントをつかんで楽しく観覧できるように、常設展クイズ「わたしはだあれ？」を実施し活用を図っている。また、芸術の森公園内に、俳句や詩、短歌や童謡、小説やエッセイの一節を書いた24本の柱を立て、「文学の柱追跡散歩」としてクイズを実施している。

⑤ チャレンジクイズ

楽しみながら企画展や特設展の内容が学べる小中学生対象のクイズを作成。「チャレンジクイズ」を通して、文学や作家について学ぶ機会を提供する。

⑥（ジュニア）インターンシップ（就業体験）

子どもたちの職業観・勤労観を、より早い段階から育成するとともに、将来、自らの進路を自分自身で選択できる能力を育てていくことが課題となっている。文学館としても、中・高校・大学生の職場見学や（ジュニア）インターンシップを積極的に受け入れ、若年者の職業意識形成支援に積極的に取り組む。令和3年度は高校生7名を受け入れた。

⑦ 学習資料・アウトリーチセットの貸与

館作成資料の一部を、学校をはじめ、生涯学習事業等に対して貸与を行う。令和3年度は、「石川啄木セット」を県内小中高校2校に、飯田蛇笏・龍太のちまちな人形セットを3校に、「村岡花子と『赤毛のアン』の世界セット」を5校に、「宮沢賢治～イートハーブの世界・嘉内（かない）との友情物語～セット」を9校に、「芥川龍之介の夏休みセット」を3校に、そして「文豪ストレイドッグス」を11校に貸し出した。

※各展示室入室の人数制限により、常設展示室、企画(特設)展示室、研修室と3室内に分散し学習プログラムを計画し実施した。

(9) やまなし文学賞について

平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して制定された。山梨県の文学振興をはかり、日本文化発展の一助として、小説、研究・評論の2部門が設けられている。令和3年度は小説部門216編、研究・評論部門121編の応募があった。

(10) おうちで文学クイズ

令和2年度より文学館ホームページ内に「おうちで文学クイズ」を小中高生向けに掲載。新型コロナウイルス感染症により学校の休校等で自宅学習となった児童生徒がネットを通じて文学を学ぶ機会を提供することを目的とした。内容は、初級編「俳句・季語当てクイズ」・中級編「文豪作品イントロクイズ」・上級編「小説家クロスワードパズル」と3段階。

令和2年度 教育普及事業の実施状況

| 分類 | 内容 講師等 | 開催日 | 会場 | 参加人数 | |
|-----------------------|--|------------------|-----|------|-----|
| 文学講座 1 全8回 | 「古典文学入門」 都留文科大学教授4名によるリレー式講座 | 14:00~15:30 90分間 | 研修室 | | |
| | ①『枕草子』入門 講師:長瀬由美 | 5/28(金) | | | 34人 |
| | ②『源氏物語』入門 講師:長瀬由美 | 6/25(金) | | | 37人 |
| | ③『おくのほそ道』 講師:加藤敦子 | 7/9(金) | | | 28人 |
| | ④『百人一首』をよむ 講師:佐藤明浩 | 9/24(金) | | | 32人 |
| | ⑤「唐詩入門」 講師:寺門日出男 | 10/22(金) | | | 23人 |
| | ⑥『心中天網島』 講師:加藤敦子 | 11/12(土) | | | 27人 |
| | ⑦「上代文学と絵本①」 講師:鈴木武晴 | 11/19(金) | | | 12人 |
| | ⑧「上代文学と絵本②」 講師:鈴木武晴 | 12/17(金) | | | 16人 |
| 参加者合計 | | | | 209人 | |
| 文学講座 2 全7回 | 「ジャンルを超える文学の可能性」 講師:大村 梓(山梨県立大学准教授) | 14:00~15:30 90分間 | 研修室 | | |
| | ①「文学作品に描かれる消費社会像—谷崎潤一郎『青い花』」 | 5/15(土) | | | 23人 |
| | ②「村岡花子の短歌と翻訳」 | 7/17(土) | | | 21人 |
| | ③「俵万智のチョコレート世界観—短歌と現代語訳」 | 9/25(土) | | | 29人 |
| | ④「ミステリー小説の系譜—江戸川乱歩から東野圭吾まで」 | 10/16(土) | | | 38人 |
| | ⑤「村上春樹の描く日本—日本語と英訳の狭間で」 | 11/6(土) | | | 15人 |
| | ⑥「家族像の変容—吉本ばなな『キッチン』」 | 12/4(土) | | | 23人 |
| | ⑦「近現代詩と他ジャンルの出会い—モダニズム詩から最果タヒまで」 | 12/8(土) | | | 16人 |
| 参加者合計 | | | | 165人 | |
| 文学講座 3 全4回 | 「樋口一葉『うもれ木』の周辺」 講師:高室有子(学芸幹) | 14:00~15:10 70分間 | 研修室 | | |
| | 「江戸川乱歩と木々高太郎」 講師:中野和子(学芸員) | 6/17(日) | | | 11人 |
| | 「古典文学の富士山—平安時代を中心に」 講師:伊藤夏穂(学芸員) | 9/19(日) | | | 20人 |
| | 「励まし、励まされ 八木義徳と野口富士男—書簡を軸に」 講師:保坂雅子(学芸課長) | 10/10(日) | | | 19人 |
| | | 11/28(日) | | | 14人 |
| 参加者合計 | | | | 64人 | |
| 企画展関連事業 「ミステリーの系譜」 | 講演会「探偵と民俗学者、そして陰陽師」 講師:京極夏彦(小説家) | 10/23(土) | 講堂 | 210人 | |
| 文学創作教室 | 「初心者短歌教室」 全2回 講師:三枝浩樹 | 5/29(土) | 研修室 | 20人 | |
| | | 7/3(土) | 研修室 | 18人 | |
| | 「初心者小説創作教室」 全2回 講師:川上健一 | 7/11(日) | 研修室 | 14人 | |
| | | 10/17(日) | 研修室 | 13人 | |

| | | | | |
|--------------------------------|-------------------------|-----------|------------|------------|
| 文学創作教室 | 「三枝昂之短歌講座」 全1回 講師:三枝館長 | 9/26(日) | 研修室 | 32人 |
| | ZINE作り教室 | 11/13(日) | 研修室 | 18人 |
| | ZINEフェスティバル | 12/4(土) | 2階ロビー | 90人 |
| | 「三枝浩樹短歌講座」 全1回 講師:三枝浩樹 | 12/12(日) | 研修室 | 36人 |
| | 参加者合計 | | | 241人 |
| 名作映画鑑賞会 | 悪魔の手毬唄 | 10/31(日) | 講堂 | 84人 |
| | 影なき声 | 11/7(日) | 講堂 | 85人 |
| | ブタがいた教室 | 1/9(日) | 講堂 | 60人 |
| | 参加者合計 | | | 229人 |
| ワークショップ | 「はんこ彫り(篆刻)をしよう」 | 5/16(日) | 研修室 | 24人 |
| | 「スノードームをつくろう」 | 7/18(日) | 研修室 | 20人 |
| | 新春小学生百人一首教室 | 1/8(土) | 研修室 | 24人 |
| | 大人のための初心者俳句ワークショップ | 2/27(土) | 書面開催 | 26人 |
| | 参加者合計 | | | 94人 |
| チャレンジクイズ | チャレンジ文学館「わたしはだあれ？」 | | | 1226人 |
| | 文学の柱 | | | 302人 |
| | 企画展チャレンジクイズ | | | 808人 |
| | 特設展チャレンジクイズ | | | 731人 |
| | 参加者合計 | | | 3067人 |
| 協力会読書会 | 森鷗外「雁」 | 5/9(日) | | 5人 |
| | 太宰治「地図」 | 6/13(日)中止 | | |
| | 芥川龍之介「地獄変・偷盗」 | 7/4(日)中止 | | |
| | フローベル「ボバリー夫人」 | 8/1(日)中止 | | |
| | やまなし文学賞受賞作 田村修宏「銀ぎつね」 | 9/5(日)中止 | | |
| | 辻村深月「ロードムービー」 | 10/3(日) | | 4人 |
| | シェイクスピア「オセロ」 | 11/7(日) | | 4人 |
| | 林真理子「花探し」 | 12/5(日) | | 4人 |
| | 深沢七郎「楢山節考」 | 1/23(日)中止 | | |
| | 山本周五郎「山彦乙女」 | 2/6(日)中止 | | |
| | 芥川受賞作2作(第165回&166回) | 3/6(日)中止 | | |
| 参加者合計 | | | 17人 | |
| ジュニアインターンシップ (就業体験受け入れ) | 甲府城西高校 | | | 2人 |
| | 青洲高校 | | | 1人 |
| | 甲府東高校 | | | 4人 |
| | 学芸員実習 都留文科大学 | | | 1人 |
| | 東京農業大学 | | | 1人 |
| 参加者合計 | | | 9人 | |
| 山梨の文学解説講座 (講師派遣) (一般・学校) | 小学校 | | | |
| | 中学校 4回 | | | |
| | 高等学校 3回 | | | 小中高特 757人 |
| | 一般 2回 | | | 一般 55人 |
| | 参加者合計 | | | 全9回 812人 |
| 文学教室 | 展示解説 | | | |
| | 小学校 5校 | | | |
| | 中学校 17校 | | | |
| | 高等学校 8校 | | | 小中高特 1303人 |
| | 一般 | | | 一般 0人 |
| 参加者合計 | | | 全30回 1303人 | |
| その他 | 移動文学館パネル展示 | | | 33校 12260人 |
| | 朗読公演会「ベルベットのうさぎ」 | 12/11(土) | | 220人 |
| | やまなし文学賞(小説216 研究・評論121) | | | 337人 |
| | やまなし文学賞表彰式 | 3/12(土)中止 | | |
| | 外部共催研修 | 1回 | | 12人 |
| | 教師のための学習会 | 2回 | | 20人 |
| | 各種団体への広報活動 | 12回 | | 803人 |
| | 参加者合計 | | | 13652人 |

(5) 刊行物の記録

① 山梨県立文学館館報 (113号よりサイズ変更 A5版カラー8頁 両面3か所谷折り) 寄稿文

113号 2021(令和3)年9月10日発行

【寄稿】 木々高太郎から笠井潔まで—山梨県とミステリー— 北村薫(作家)

114号 2022(令和4)年3月10日発行

【寄稿】 芥川龍之介—手書きの文字が表現するもの— 伊藤一郎(東海大学名誉教授)

② 企画展「ミステリーの系譜」図録 寄稿一覧

木々高太郎から笠井潔まで —山梨県とミステリー—
犯人当て企画に見るわが国推理小説の歴史
膨大な記録を残した江戸川乱歩
ミステリーの魅力

北村 薫
戸川 安宜
平井憲太郎
神永 学

③ 資料と研究 第二十七輯 令和3年3月29日発行 A5版118頁

令和2年度企画展「飯田龍太展 生誕100年」より

シンポジウム 飯田龍太を語る パネリスト 龍澤和治・中西夕紀・高柳克弘 進行 井上康明

常なき日々の歌(二) —困難はその後どう詠われたか

三枝 昂之

飯田蛇笏 高室呉龍宛書簡 翻刻 一九三五年～一九三六年

高室 有子

井伏鱒二 野上照代宛書簡 翻刻 一九八六年七月～一九八九年十月

中野 和子

田中冬二 細川基宛書簡 翻刻(二)

伊藤 夏穂

佐佐木茂索日記「且楽軒記」五 翻刻

保坂 雅子

中村星湖作成スクラップブック[㊤]その二

山形敏貴・日下部光代・中島桂子・水上百合子

編集後記

(6) 閲覧室の運営

① 閲覧室の設置

山梨県立文学館設置及び管理条例と施行規則に基づき、県民・文学館来館者への資料・情報の提供及び調査・研究に対する助言を主な事業として、閲覧室の運営を行っている。

② 閲覧室の利用

ア 利用時間

平日 午前9時～午後7時
(午前9時～午後4時)
土・日・祝日 午前9時～午後6時
(午前9時～午後4時)

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため年度当初から実施していた利用時間の短縮(午後4時閉室)を11月30日で終え、12月1日より通常の時間で運営した。

イ 利用手続

書庫内の資料を利用する場合は、「閲覧カード発行申込書」に必要事項を記入し、「閲覧カード」の交付を受ける。閲覧を希望する資料名を「文学資料等閲覧承認申請書」に記入し、受付に申し込む。

ウ 利用対象

文学資料などの調査・研究、読書を目的とした利用とする。

③ 閲覧室の業務

ア 所蔵資料の閲覧・情報提供

閲覧室では文学作品・文学研究書を中心とした図書、逐次刊行物、県内外文芸誌、新聞などを収集し、利用に供している(一部禁閲覧資料あり)。また、画像情報システムにより、特殊資料の芥川龍之介資料、樋口一葉資料、その他、中村星湖、山崎方代など、実物の閲覧が困難な資料を画像で閲覧に供している。

イ 文献検索システムによる書誌情報の提供

所蔵資料(図書、逐次刊行物、特殊資料、マイクロ資料、視聴資料)の書誌情報は、文献検索システムにより、閲覧室内のコンピュータ端末及び当館ホームページからの検索が可能である。

図書は通常の本誌情報に加え、内容細目もデータ化し、全集・シリーズに収録されている個々の作品名、作者名からの検索も可能としている。

逐次刊行物については、一部のものは論文名、

作品名、執筆者名からの検索も可能である。

ウ 調査・相談業務(レファレンス)

閲覧室に寄せられた調査・相談・照会などの依頼に対しては、文献に基づき、司書、学芸員などが対応している。質問は、電話、文書、FAX、電子メールでも受け付けている。

エ 複写サービス

著作権法に基づき、一部の禁複写資料を除き、所蔵資料の複写サービスを行っている。(有料)

オ 朗読テープ・CDの利用

朗読テープ・CDは文学関係のものを中心に所蔵し、コーナーを設けて利用に供している。
※令和3年度はコーナーの利用を休止した。

カ 個人研究室・共同研究室の利用

閲覧室内には個人研究室2室、共同研究室2室が併設されており、個人及びグループでの研究・研修などの利用に供している。(有料)
※令和3年度は研究室の利用を休止した。

キ ビデオブースの利用

文学館の紹介及び文学資料の情報を多角的に提供するため、閲覧室にビデオブースを併設し、文学関連の映像資料を提供している。
※令和3年度はブースの利用を休止した。

ク 資料紹介

所蔵する資料のほとんどが書庫内にあるため、直接来館者の目にふれることが少ない。そこで収蔵している図書・雑誌の紹介を目的として、テーマを決めて閲覧室内で「資料紹介」を行っている。

ケ 書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説している(年2回開催)。
※令和3年度は実施を見送り、その代替として、閲覧室の案内や特色ある資料を紹介する「閲覧室トーク」を行った。

④ 閲覧室の新型コロナウイルス感染拡大防止対策

前年度同様、消毒液・空気清浄機の設置、定期的な除菌作業の実施、閲覧席・書架の一定の間隔の確保、密になるスペースの提供休止、カウンターへのアクリル板の設置等の対策を講じた。
あわせて光触媒コーティングも実施した。

閲覧室事業実施状況

◆「閲覧室資料紹介」

| | タイトル | 展示期間 | 備考 |
|---|-----------------|------------------------|---------------------|
| 1 | 文学の中の武田信玄 | 令和3年4月6日(火)～6月13日(日) | 「信玄公生誕500年記念事業」連動展示 |
| 2 | 富士山に魅せられた作家たち | 令和3年7月17日(土)～8月7日(土) | 特設展「文学の中の富士山」連動展示 |
| 3 | ミステリーの世界 | 令和3年9月17日(金)～11月21日(日) | 企画展「ミステリーの系譜」連動展示 |
| 4 | 生誕100年 矢崎源九郎を読む | 令和4年2月4日(金)～4月3日(日) | |

※「富士山に魅せられた作家たち」は、8月29日(日)までの展示を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止(休館)のため8月7日(土)で終了した。

◆「文学者の誕生日にちなんだ資料紹介」

| | 対象者 | 展示期間 | 備考 |
|---|------------------|-------------------------|----|
| 1 | 土橋治重(4月25日生まれ) | 令和3年4月16日(金)～5月7日(金) | |
| 2 | 熊王徳平(6月15日生まれ) | 令和3年6月11日(金)～7月1日(木) | |
| 3 | 与謝野晶子(12月7日生まれ) | 令和3年11月26日(金)～12月16日(木) | |
| 4 | 井伏鱒二(2月15日生まれ) | 令和4年1月28日(金)～2月17日(木) | |
| 5 | 曾根崎保太郎(3月11日生まれ) | 令和4年3月11日(金)～3月31日(木) | |

※予定していた保坂耕人の資料紹介(8月27日～9月16日)は、新型コロナウイルス感染拡大防止(休室)のため中止した。

◆「その他の資料紹介」

| | タイトル | 展示期間 | 備考 |
|---|-----------------|----------------------------|------------------------|
| 1 | 七夕と星の展示 | 令和3年7月2日(金)～7月16日(金) | |
| 2 | 辻村深月関連資料紹介 | 令和3年9月14日(火)～11月28日(日) | 秋の常設展「山梨の現代作家」連動展示 |
| 3 | 京極夏彦関連資料紹介 | 令和3年10月19日(火)～10月23日(土) | 企画展関連イベント「京極夏彦講演会」関連展示 |
| 4 | 文学の中の武田信玄(ミニ展示) | 令和3年10月15日(金)～11月7日(日) | 「信玄公生誕ウィーク」連動展示 |
| 5 | 神永学関連資料紹介 | 令和3年11月30日(火)～令和4年3月6日(日) | 冬の常設展「山梨の現代作家」連動展示 |
| 6 | クリスマスの展示 | 令和3年12月8日(水)～12月25日(土) | |
| 7 | 最果タヒ関連資料紹介 | 令和3年12月18日(土) | 年間文学講座関連展示 |
| 8 | 千支にちなんだ資料紹介「寅」 | 令和3年12月26日(日)～令和4年1月10日(月) | |

◆ 書庫見学

第1回 令和3年6月5日(土)、第2回 令和3年11月20日(土・県民の日)の日程で書庫見学を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。その代替として、11月4日(木)、11月11日(木)、12月2日(木)、12月9日(木)の4回、13:30～13:50に、閲覧室の案内や特色ある資料を紹介する「閲覧室トーク」を実施した。



資料紹介「生誕100年 矢崎源九郎を読む」



閲覧室トーク

(7) 芸術の森公園活性化事業

令和2年度から、芸術の森公園と、文学館・美術館、茶室・素心菴の魅力を打ち出し、賑わいを生み出す事業を開始した。若い世代の意見を取り入れるため山梨県立大学生との意見交換会などを実施、これをもとに夏と秋のイベントを企画した。

第1回「フォトスポット in 芸術の森公園 ～浴衣ならもっと楽しい!～」

8月22日(日)に素心菴で浴衣での自撮り撮影会などを予定していたが、コロナウィルスの感染拡大による休館のため中止となった。

第2回「フォトスポット in 芸術の森公園 秋はカラフル&ミステリー!」

11月3日(水・祝)に、公園の紅葉狩りと企画展「ミステリーの系譜」にちなんで謎解きラリーを楽しむイベント(素心菴～公園～文学館の各ポイントを辿って、クイズを解く)を実施した。素心菴にジャンボフラワー、ネイルアート体験コーナーを設置(指定管理者が対応)。参加者には紅葉の撮影スポットマップを配布し、SNSでの発信を呼びかけた。参加人数は224名だった。



(8) 新型コロナウイルス感染症対応の記録

令和3年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症が全国に流行したため、様々な感染防止対策を行った。令和3年8月8日(日)から9月12日(日)までの間、文学館を臨時休館した。

1 基本的な感染症対策

1) 来館者へのお願い

- ・入館前に入館者チェックシートの提出
- ・マスクの着用
- ・発熱、風邪症状、味覚障害など体調に不安のある方等は、来館を控えること
- ・入館時の非接触での検温
- ・手洗い、手指消毒の徹底
- ・作品鑑賞時に、他の来館者と1m以上の距離を開けること
- ・壁や展示ケースに触れない

2) 文学館の主な取り組み

- ・館内のソファの一部を撤去
- ・定員に応じた入場制限
- ・鑑賞型展示(接触型展示部分)や体験型展示など、展示内容の一部閉鎖
- ・アルコール消毒液、ハンドソープの設置
- ・ウォーターサーバー等の一部設備の停止
- ・スタッフはマスク着用で対応

2 各事業の対応

1) 展示室の運営

【常設展】

- ・8月8日(日)から9月12日(日)までの休館後、9月14日(火)に再開。
入場者数の制限や以下の展示制限等は、継続して行った。
- ・展示室内の椅子の一部を撤去。
- ・樋口一葉「たけくらべ」と芥川龍之介「鼻」の朗読コーナーは、ヘッドフォン・スイッチを利用者が使うため、撤去。
- ・芥川龍之介コーナーの画像視聴コーナー(モニター2台)は、監視員が利用者の要望に応じて操作する方式に変更。

【特設展・企画展】

- ・休館により、開催中の特設展「文学の中の富士山」は、8月7日(土)で終了した。
- ・移動制限により来館が困難な利用者のため、春の特設展「作家の愛用品」、夏の特設展「文学の中の富士山」の展示資料を紹介する動画を各3本、計6本を文学館ツイッターに投稿した。
- ・企画展「ミステリーの系譜」では、文化芸術を鑑賞する機会が減少したことに対応し、事前予約制の「ナイトミュージアム」を2回実施、学芸員によるギャラリートークをナイトミュージアムの2回、土・日の昼間の3回、実施した。(感染対策のため音声レシーバーを使用)

| | | | |
|--------------|-----------|-------------|--------|
| ナイトミュージアム | 10月15日(金) | 18:30~20:00 | 参加者5名 |
| | 11月19日(金) | 18:30~20:00 | 参加者19名 |
| ギャラリートーク(夜間) | 10月15日(金) | 18:30~18:45 | 参加者5名 |
| | 11月19日(金) | 18:30~18:45 | 参加者8名 |
| ギャラリートーク(日中) | 10月17日(日) | 13:00~13:15 | 参加者5名 |
| | 10月24日(日) | 13:00~13:15 | 参加者4名 |
| | 11月13日(土) | 13:00~13:15 | 参加者6名 |

2) 閲覧室の運営

- ・11月30日(火)までは前年度から継続して、利用時間を9:00～16:00に短縮していたが、12月1日(水)より通常時間(平日 9:00～19:00、土日祝 9:00～18:00)に戻した。
- ・引き続き、以下の対策を行って、閲覧室の運営を行った。
空気清浄機、カウンターへのアクリル板、消毒液の設置。定期的な除菌作業の実施。
閲覧席・書架の一定の間隔の確保。密になるスペースとなる個人研究室・共同研究室・ビデオブース・朗読テープCD視聴コーナーの利用を休止。
- ・11月22日(火)、カウンター、机、イス、書棚等の光触媒コーティングを実施。
- ・12月より夜間入室者用の検温・消毒機を設置。
- ・書庫見学は休止し、短時間の閲覧室トークを実施。
- ・企画展「ミステリーの系譜」で行ったギャラリートークと連動して、司書による閲覧室利用案内、館蔵貴重書についての解説「閲覧室トーク」を実施した。(事前予約制、音声レシーバーを使用)

| | | | |
|--------|-----------|-------------|-------|
| 閲覧室トーク | 11月4日(木) | 13:30～13:50 | 参加者1名 |
| | 11月11日(木) | 13:30～13:50 | 参加者2名 |
| | 12月2日(木) | 13:30～13:50 | 参加者6名 |
| | 12月9日(木) | 13:30～13:50 | 参加者7名 |

3) 教育普及事業の運営

- ・6月12日(土)の初心者短歌教室を延期。
- ・8月8日(日)から9月12日(日)の年間文学講座と短歌講座を延期。
- ・講堂・研修室での催しは、前年度に引き続き利用者数を制限して実施。
研修室では講師と聴講者の間にアクリルパネルを設置し、講堂は、講師と聴講者の距離を確保して講座・講演会を実施した。
- ・9月3日(金)の出前講座は、リモートで実施。
- ・令和4年2月27日(日)の俳句ワークショップは、書面開催とした。(参加者の作品を、講師が講評したものを送付した)

4) ミュージアムショップ(協会運営)

- ・感染拡大に対応して、令和4年1月20日(木)～4月22日(金)の間、金土日祝のみ、時間短縮11:00～16:00で営業した。
- ・短縮営業期間は、ボランティア活動を休止。

5) 貸館

- ・前年度に引き続き、貸館の定員を変更して制限した。
(講堂:100名⇒250名、研修室:1室10名⇒15名、茶室:全室10名⇒15名)
- ・11月11日(木) 講堂の備品(ドアノブ、客席と付属のメモ台、演台、司会台等備品、控室内机とイス、講堂受付カウンター)の光触媒コーティングの実施。

6) 喫茶室

- ・令和4年2月16日(水) 喫茶室を臨時休業。
- ・令和4年3月23日(水) 喫茶室を再開。

7) その他

- ・文学館協議会、文学館専門委員会は紙面開催とした。
- ・やまなし文学賞表彰式は中止とした。
- ・4月18日(日)休止していた紙アンケートとチラシラックを再開。
- ・休館期間(8月8日(日)～9月12日(日))を有効期間に含む定期観覧券及びミュージアム甲斐in券は、有効期間を追加。
- ・令和4年2月23日(水・祝)、3月19日(土)、3月20日(日)、山梨県新型コロナワクチン大規模接種会場として講堂・研修室の利用に提供した。